

宇都宮市立横川中央小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初め4月に、家庭学習に関する保護者あて通知をし、保護者と連携をとりながら、家庭学習・自主学習への理解・協力を呼び掛けることで、基礎・基本の着実な定着に向けた指導を行っている。	4・5年生ともに、「家で学校の宿題をしている」に肯定的に回答した児童の割合は97%以上だが、自ら取り組む態度に関わる「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の「はい」「どちらかといえばはい」を合わせた児童の割合は5年生は80%を超えたものの、4年生は70%未満である。
授業におけるめあてとまとめ・振り返りの充実	授業の最初に本時のめあて、最後にまとめを板書して確認することで、児童一人一人が本時の学習内容を振り返る時間を設けるようにしている。	「授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行っている」の項目は、5年生は県より8.3ポイント高いが、4年生では県より0.5ポイント低い。
話し合い活動の充実	本校の研究主題「教師の授業力を磨き、学級力を高める指導の在り方～主体的・対話的で深い学びの実施に向けて～」のもと、話し合い活動に使う話し方の例を学校で統一を図るようすることで、各学年・各クラスの実態に応じた話し合い活動を行い、対話を中心とした深い学びや広い学びを進めることができるよう指導している。	「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」の項目は、5年生は県よりも10.2ポイント高く、4年生は県よりも6.4ポイント高くなっている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「新聞を読んでいる。」の質問に対して、「ほとんど、または、全く読まない」と答えた児童の割合は、4年は県に比べて7.7%、5年は16.1%上回っている。	国語や総合的な学習の時間をはじめ、授業での新聞の積極的な活用	国語や総合的な学習の時間をはじめ、各授業において新聞を積極的に活用することで、児童一人一人により興味や関心をもたせるとともに、調べたりまとめたりすることを通して、思考力・判断力・表現力のさらなる育成を目指す。